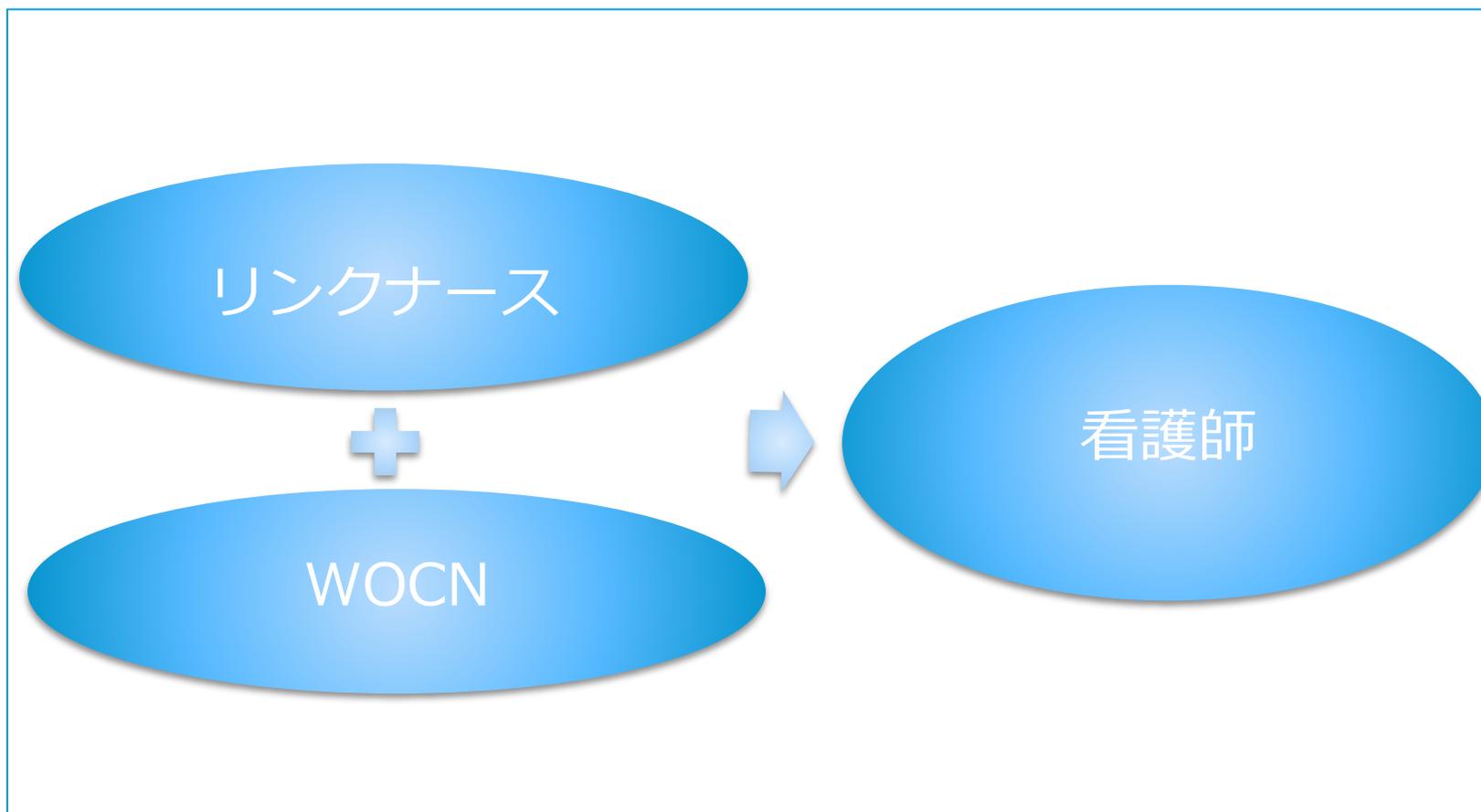


当院における
褥瘡予防のための白色ワセリンを
使用したスキンケアへの取り組み

令和2年度クオリティマネジメント報告会
看護部 海老名哲生

院内褥瘡発生予防対策の取り組み（イメージ）

褥瘡予防ためのスキンケア指導



院内褥瘡発生予防対策の取り組み（実際）

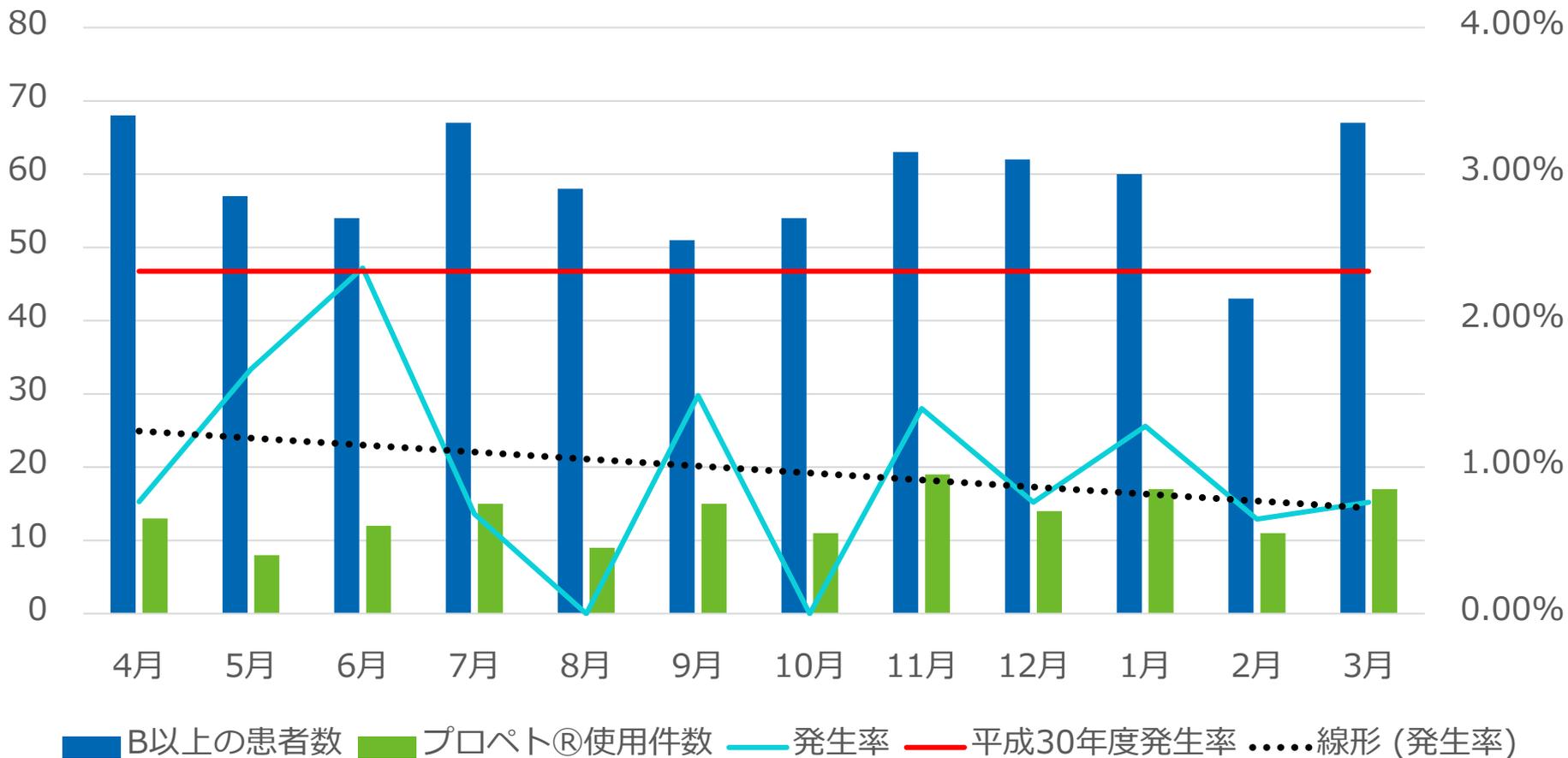
平成30年以降に実施した取り組み

- 白色ワセリンを
使用したスキンケアをマニュアル作成
- 勉強会、OJT、E-learningを実施
- 褥瘡対策カンファレンス、褥瘡回診で個別指導

背中と腰の塗布例

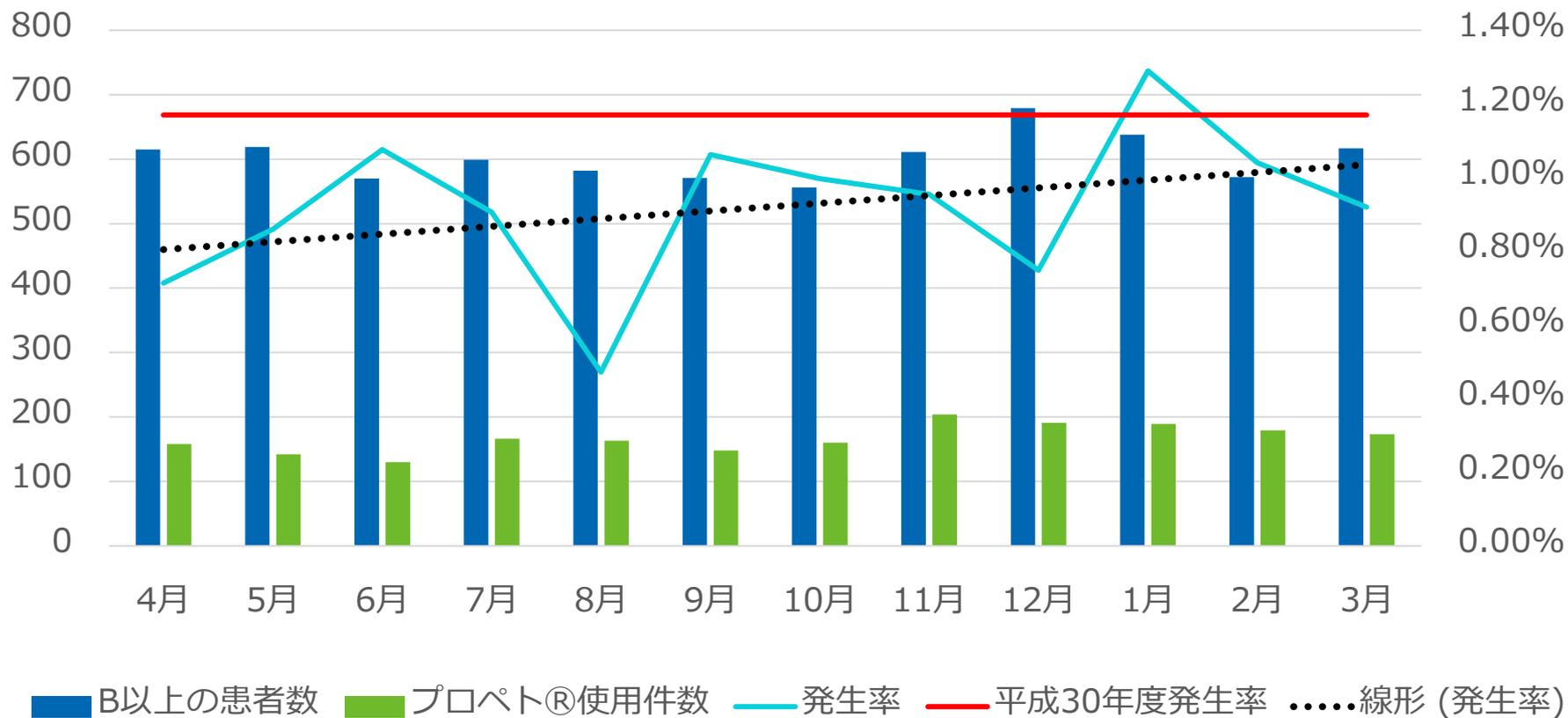


白色ワセリンの使用件数と発生率



令和元年度 A病棟

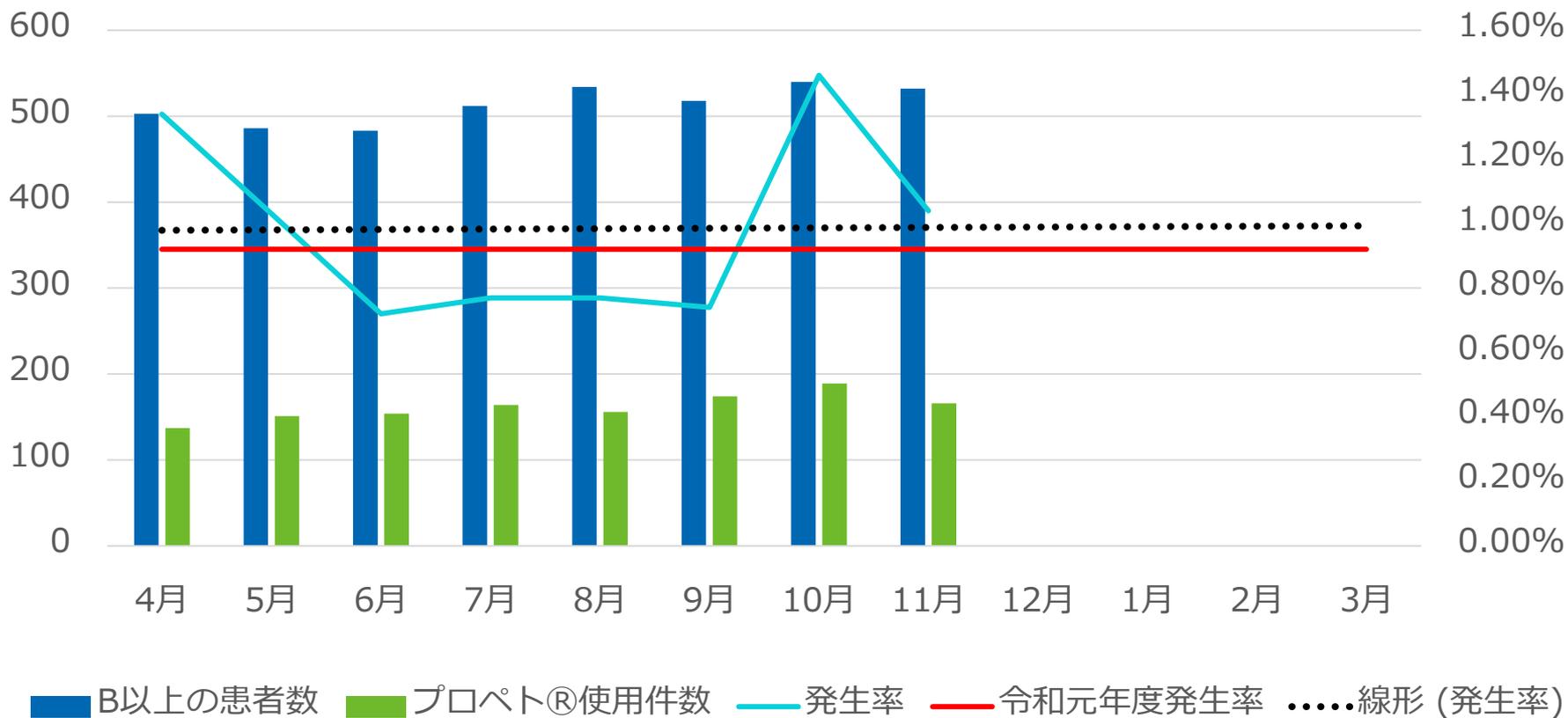
白色ワセリンの使用件数と発生率



令和元年度 院内全体



白色ワセリンの使用件数と発生率



令和2年度 院内全体



褥瘡発生率

	院内褥瘡発生率 (医療関連圧迫創傷を含む)	自重関連の 院内褥瘡発生率
平成29年度	1.66%	1.26%
平成30年度	1.50%	1.17%
令和元年度	1.30%	0.92%

院内褥瘡発生率

分子：入院後に新規に発生した自重関連褥瘡の数

分母：調査月の実入院患者数



取り組みの成果と課題

- 白色ワセリンを使用したスキンケアが定着している病棟では褥瘡発生率が大幅に低下した
- スキンケアの取り組みを開始した結果、褥瘡発生率は院内全体でも低下した
- 前年度までは、医療・看護必要度36%を越えると褥瘡発生率が高くなる傾向にあった
- 今年度、医療・看護必要度は毎月40%前後で経過しているが、褥瘡発生率は、昨年と比べ、大幅に上昇していない
- 重症系の病棟・感染症病棟、一般病棟においてスキンケアが定着していることが示唆された
- 褥瘡予防ケアは、この他、体圧分散ケア、栄養面への支援が基本であり、今後も並行して行う必要がある